

# 携帯電話事業者における緊急地震速報 配信の取組状況について

平成20年3月11日  
総務省 総合通信基盤局  
電気通信技術システム課

# 同報型情報配信システムの概要



## 従来の携帯電話メールの課題

- ネットワーク負荷の増加
- 地域を限定した情報配信ができない
- 情報到達までの時間が保証できない(端末により到達時間にばらつきが発生)



従来のメールシステムでは緊急地震速報を配信することはシステム上困難

携帯電話各社においては、同報型情報配信システムを順次導入開始

## 【機能比較表】

	同時配信 可能数	情報到達 時間	配信可能な 情報量	ネットワー ク負荷
同報型情報 配信システム	制限なし (指定エリア内全端末)	10秒～ ( 1 )	40～50文字 ( 2 )	小
携帯メール	基地局のチャネル数 による	ネットワークの 状況により変化	250～15000文字 ( 3 )	大

- 1 電気通信事業者に情報が配信されてからの時間であり、システムにより異なる
- 2 MBMS(Multimedia Broadcast Multicast System)を利用した場合は、数メガバイトも可
- 3 iモードメール:250文字、EZメール:2000文字、S!メール:15000文字(第3世代携帯電話の場合)

# 同報型情報配信システムの各社導入状況

			
サービス開始時期	2007年12月10日	年度内の開始に向け準備中	2009年度中のサービス開始に向けて検討中
サービス名	緊急速報「エリアメール」	-	-
料金等	通信料、情報料とも無料	-	-
対応端末	16機種 (905iシリーズ、N705i、N705i μ、 P705、P705i μ、SO705i、 PROSOLID μ ) エリアメールを受信するためには、利用者による端末の設定が必要。	5機種 (W61H、W61CA、W62SA、W61K、 W61SH )	-
その他	国、地方公共団体が配信する災害・避難情報も提供		

# 同報型情報配信システムによる緊急地震速報配信サービス

